

5年「単位量あたりの大きさ」(算数)

広さも、人数も違う2つの部屋。どちらが混んでいるのだろう…？今回の学習では、単位量あたりの大きさを求め、2つの数量を比べたり説明したりすることを通して、生活の中にある算数の概念に気づき、生かしていけるような子どもたちの姿を目指します。

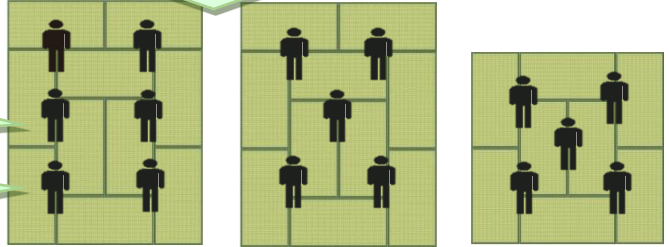
1 課題をつかみ、見通しを持つ

AとBは同じ広さだから比べやすいね！

先生：どの部屋が一番混んでいますか？

BとCは人数が同じだから、Cの方が混んでる！

あれっ、AとCだと…??



Ⓐ 10畳で6人

Ⓑ 10畳で5人

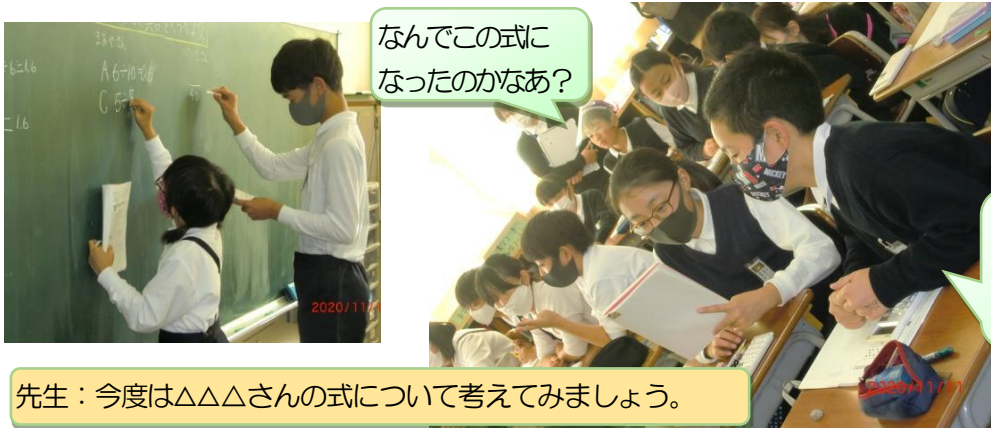
Ⓒ 8畳で5人

めあて 広さも人数もちがうときの、部屋の混みぐあいを調べよう。

2 自力で考え、ペアで相談し、学級全体で共有しよう

まずは自力で！その後、3人の友達の考え方を、全体で共有しました。

先生：〇〇さんは、一体何を求めたのかな？となりの人と話してみてください。



なんでこの式になったのかなあ？

先生：今度は△△△さんの式について考えてみましょう。



〇〇さんとは、式に使われている数字が逆になってるよ。

子どもの数が多いほど、部屋がこんでいることになるね！

たたみ一枚あたりの人数を求めているのかも！
0.6人って少数になって不思議な感じ・・・

【質の高い課題設定】

広さも人数もちがう部屋の混み具合を問うことで、適度な困難さがあり、挑戦する気持ちが高まる課題を設定する。

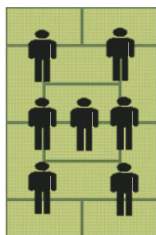
〇〇さんは、たたみの面積を一人ずつに分けてるんだ！
Ⓐの場合は1.66枚かなあ？

【聴き合う関係】

児童が課題を解決するための手がかりをつかんだり、多様な考えを知り、学びを深めたりするために、ペア活動を細かく位置づける。

3 まとめ

たたみ1枚あたりの人数や、1人あたりの枚数を比べるとこみ具合を比べることができる。また、公倍数を使っても比べることができる。



Ⓓ 12畳で7人

まとめ後、チャレンジ問題にも意欲的に取り組みました。

